



わくわく だより NO 8

発行：社会福祉法人わくわく 事務局
TEL:096-338-4213/FAX:096-284-7377
〒861-8005 熊本市北区龍田9丁目2番21号
Mail: k-fureaiwork@indigo.plala.or.jp

就労継続支援B型

ふれあいワーク

生活介護

もねっと

生活共同援助

ふれあいワーク

グループホーム事業所

残暑お見舞い申し上げます。残暑と言うにはあまりに暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

今年は、コロナの感染拡大や人吉球磨の豪雨災害など暗いニュースが多く、先の見通しが付きづらい不安な年となりました。本来なら今頃東京オリンピックが開催され、大変盛り上がっていたらと思うと複雑な気持ちです。

見通しのつかない不安を乗り切るためには、身近な人から得る情報や助言、励ましなどが一番の支えになりますよね。

ドイツの著名な心理学者アドラーは、幸せは手に入るものではなく、感じるものであり、共有するものであると述べています。

またつながりの中に生きている感覚に気がつくことが大切な事であり、これを「共同体感覚」と言い、人が成長するために重要なものであるとも述べています。つまり、人はつながりの中で、しあわせや成長を実感できると言っているように思います。

しかし現在の状況は、人が生きるために不可欠なつながりを持ちづらい状況が続き、もどかしい想いをされている方が多いことだと思います。社会福祉法人わくわくもその例外ではありません。

今号は、そんな『つながりたくても、つながれない。』状況の法人内の様子、はたまた苦悩や工夫などをお伝えしたいと思います。

ご覧になった方の経験談やご意見などもぜひお聞かせいただければ幸いです。

令和2年度第1回評議員会・理事会

つながりといえば、平素法人内では、様々な会議や集まりがいろんな形で実施され、情報交換や話し合いを通じて、各々が交流や連携を深めています。そのあまたの会議の中で最も重要な会議が、評議員会、理事会です。

令和2年度第一回評議員会4月22日(水)にふれあいワークの食堂にて午後6時より開かれました。4月6日から始まった緊急事態宣言が、16日に全国に拡大された中でしたので、短時間の開催となりました。

今年度は、4月よりもねっとの新設や、ふれあいワークやグループホーム事業所の定員増を行ってため定款の変更を議決しています。

第1号議案 議事録署名人選出

第2号議案 定款変更

その他 令和2年度 事業計画
令和2年度 予算



第一回評議員会様子

令和2年度の第一回理事会、第2回評議員会は、例年5月末に開催してはいますが、今年は緊急事態宣言解除が5月末までに延期されたのを受けて、今年は、書面送付し決議を行うこととなりました。議題は次の通りです。

理事会議題

- 第1号議案 令和元年度 事業報告書
法人 B型 生活介護 グループホーム
- 第2号議案 令和元年度 収支決算書
- 第3号議案 監事監査報告

評議員会議題

- 第1号議案 令和元年度 事業報告書
- 第2号議案 令和元年度 収支決算書
- 第3号議案 監事監査報告
- 第4号議案 社会福祉充実残高について

ご寄附いただきました

山本 今朝一様 丸野 真司様 二神 陽子様
 中山 泰男様 丸山 光代様 ふれあいワークを支える会様

以上の方よりご寄附いただきました。ご厚志に感謝いたします。（令和2年3月31日現在 順不同）

令和1年度決算報告

事業活動収支概要

単位：千円

	法人合計	
	売上対比	前期比
サービス活動収入		
当期実績	152,658	100%
前期実績	137,822	111%
サービス活動支出		
当期実績	136,994	90%
前期実績	123,381	90%
(経常支出：内訳)		
人件費	87,335	57%
事業費	9,251	6%
事務費	12,295	8%
減価償却ほか	8,745	6%
就労事業費	22,263	15%
うち国庫補助金取崩	-2,896	-2%
サービス活動収差額	15,663	10%
前期実績	9,440	166%
サービス活動外収差額	246	0%
前期実績	-276	0%
特別収支差額	-1,233	0%
前期実績	1,000	-123%
当期活動収支差額	14,676	10%
前期実績	10,164	144%
当期活動収差差額	10,164	7%

資金収支概要

単位：千円

	法人合計	
	売上対比	予算比
サービス活動収入		
当期実績	153,059	100%
前期実績	133,376	115%
予算	165,953	92%
事業活動支出		
当期実績	130,441	85%
前期実績	112,500	116%
予算	151,903	86%
(経常支出：内訳)		
人件費	86,508	57%
事業費	9,251	6%
事務費	12,295	8%
就労支援事業費	22,230	17%
支払利息	154	
事業活動収差額	22,618	15%
予算	20,876	108%
設備整備収支差額	-14,865	
予算	-29,147	51%
他活動収支差額	-838	
前期実績	-555	
当期資金収支差額	6,913	5%
予算	-8,826	-78%
当期活動収差差額	6,913	5%

※ 理事評議委員会の資料は、
 ホームページでご覧になれます。
<http://fureaiwakuwaku.work/>

法人管理会議を始めました。

7月より、第二木曜日と第四木曜日に法人管理会議を始めました。4月よりもねっとが新設され法人内に3つの事業所を持つことになりました。

そこでこれまで以上に連携をとることが不可欠となり、各事業の管理者と理事長が顔をそろえて話し合いを持っています。

理事長は、会議の冒頭で『脱小規模作業所』を今後の目標に掲げられました。これまでのつながりを維持しながら、新たなつながりをつくっていかうとも語られました。この会議が、わくわくに新しい風を吹かせてくれることを期待しています。



会議の様子

	当期期末	当期期首	
現預金	26,963	20,094	
未収金	23,053	21,014	前年比
合計	50,016	41,108	122%

市川さん やすらかに・・・

なかま同士のつながりを最も実感するのが、月に一度のなかま会です。そのなかま会で長らく役員を務められ、活躍された市川康博さんが7月10日に急逝され、47歳の生涯を閉じられました。

市川さんと言えば、その朗らかで人懐っこいお人柄で皆さんに愛され、慕われた方でした。

生前、市川さんが書かれた短い文章があります。これが、障害を持ちながら、ふれあいワークでやグループホームで、周りの方たちと助け合いながら働き、暮らしている市川さんの姿をとても伝えていきますので、ぜひ皆さんにお読みいただきたいと思います。

病気と人の関わりの大切さ

ふれあいワーク利用者 市川康博

私は、てんかんという病気があります。受け入れるまでに時間がかかり、親に迷惑をかけました。仕事はなかなか見つからず、精神の手帳を取得し、てんかん協会に入りました。そこでふれあいワークを紹介してもらいました。

私はふれあいワークの作業のほかに、施設外就労で岩田コーポレーションへ行っています。作業は大変ですが、工場の方々も私の病気を理解されているので安心して出来ます。

グループホームでは、みんなそれぞれの役割があり、助け合いながら生活しています。

施設のなかま会では、副会長、つばさ会では運営委員をしています。みんなに伝える時はどう話せば良いか考えます。難しいですが大切にしたいと思っています。

最後に、利用者が頑張りたいと思える雰囲気づくりを施設の職員に希望します。

生前市川さんは、行事や研修、旅行などがある度にこのような文章をかいて、なかま会で発表してくれていました。思い返すと人とつながることの大切さを伝えてくれていたのでしょうか。

市川さん。あなたのようなつながり上手には遠及びませんが、少しでも近づけるようにどうか見守ってください。

お疲れ様でした。そしてやすやかに・・・



新年会での
一コマ

就労継続支援 B型

ふれあいワーク



こころでつながろう！

昨年まで「多機能型支援センターふれあいワーク」でしたが、生活介護事業「もねっと」が独立しましたので、就労継続支援B型の「ふれあいワーク」に名前が変わりました。

2名の方が一般就労とA型事業所へ移籍されましたが、今年度は4月に5名の仲間が、8月には2名の方が入所され、総勢47名の大所帯です。

今年は新型コロナウイルス感染症の渦に巻き込まれ、仕事が激減してしまいました。イベントやお祭りなどが軒並み中止となり、ケーキやクッキー等の販売先である学校などでの販売もできなくなりました。「工賃は絶対下げない」を目標に皆必死で仕事探しをしています。

しかし、これまでいろいろな形でつながり、支援いただいている企業や団体、学校、地域の方々からは、「大変さ」をご理解頂き、お仕事を頂いたり、直接の販売は難しいもののファックスや電話での注文、販売の回数を増すなどのご協力を頂いています。これからもこのつながりは更に大事にして育てていきたいものです。

「少し離れても、心は離れない。大丈夫心は近いから」まさにこの言葉そのままです。



お昼はまだかな・・・

あたらしいしごとはじめました！

清掃班は熊本市の文化課よりお仕事を頂きました。島崎にある「釣耕園」の清掃です。月に6回ほど掃除に出かけます。釣耕園は肥後3代藩主細川綱利が建てたお茶屋といわれる別荘の1つだそうです。広くて木々が生い茂り、川も流れています。暑い中の除草作業は大変ですが、すばらしい環境に癒されています。また近くの石神山公園での昼食タイムも楽しみです。

もねっと 生活介護事業所



今年の4月1日にふれあいワークの隣に生活介護事業所「もねっと」が開所しました。3月末までふれあいワークの生活班として活動してきたなかまに今年度から新たに2名が加わって17名となりました。

法人での辞令交付式の後、1時からもねっとのなかまごと家族、建設に携わって下さった方々と理事長、理事で時節柄ささやかな開所式を行いました。皆さまから暖かいご挨拶をいただき心穏やかとなりました。

家族会から素敵な壁掛け時計を2台と岩川会長より「これからもねっとで楽しい時を刻んでください」との勇気の湧くお言葉まで頂戴しました。言葉は不思議ですね。もねっとのなかまとの関わりの中で、言葉の表出の少ない方からお互いの心が通う楽しさや尊さを教えていただきます。

「もねっと」はフィンランド語で「たくさん」という意です。今はまだちいさな「もねっと」ですが、いつか「たくさん」つながりができる事を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



開所式の様子

生活共同援助 ふれあいワーク グループホーム事業所



グループホームの一番の楽しみといえば、土日のお出かけや外食です。しかしコロナの影響で、お出かけや外食も自粛が続いています。

そこで、最近はテイクアウトを利用して気分転換を図っています。なかまの皆さんからリクエストをとるとお寿司の希望が多かったので、6月はお寿司のテイクアウトをためしてみることにしました。

その日は朝から「今日はお寿司。楽しみ!」と話す声がちらほら聞こえてきます。ときどきしながら待っていると、お寿司が届きました。

受け取ってみると、なんと寿司桶に入った本格的なものでした。食べてみると、味もなかなか「テイクアウトもなかなかいいね」と皆さん大喜びでした。

味を占めて、翌月はピザとテイクアウトの幅を広げています。ピンチはチャンスに変えて楽しみを見つけていこうと思います。



『いただきます。』

令和2年度下半期行事予定

9月	家族会	3月	理事評議員会 仲間会総会
10月	きょうされん全国大会 健康診断		一泊研修旅行
11月	すすかけの会 つばさかいまつり		
12月	熊福連フェアー おとなりマルシェ 理事会		
1月	御用始め 初詣 新年会		
2月	法人研修 避難訓練		



昨年の新年会の様子

よろしく お願いします。



令和2年度 新入利用者さんご紹介
就労継続支援B型 佐浦勝幸 小島美紀
後藤美代子 谷岡愛心 広瀬 涼

生活介護 野田莉音 川崎翔太

共同生活援助 小島美紀 本田征雄 猪口克己

令和2年度 新規採用 職員紹介
中野さや子(生活支援員) 古荘せいこ(生活支援員)
石橋美咲(栄養士)

どうぞ よろしくお願ひします。